階段の踊り場の奥行が階段幅と異なる階段の入力方法

文書管理番号：1218-01

Q.質 問

折り返し階段の踊り場（折り返し部分やかね折れ部分）の奥行が、階段幅と異なる形状の階段を入力したい。

単独階段を使用して階段を配置したい。

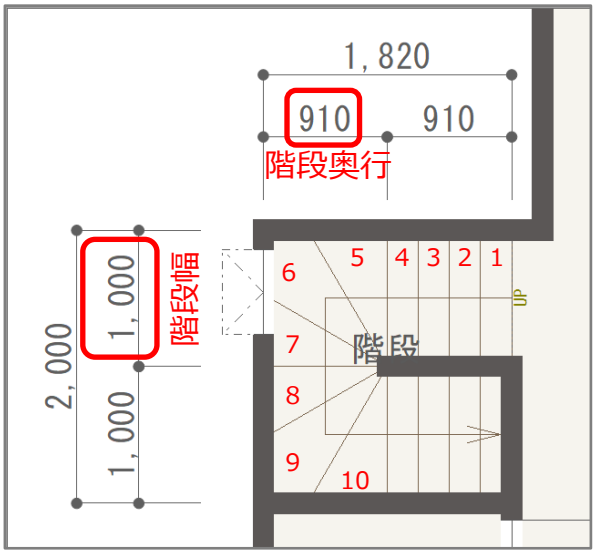
A.回 答

折り返し階段の折り返し部分やかね折れ部分の奥行が階段幅と異なる場合は、階段幅と階段奥行をそれぞれ異なる寸法で設定できる単(単独階段)を使用して入力します。

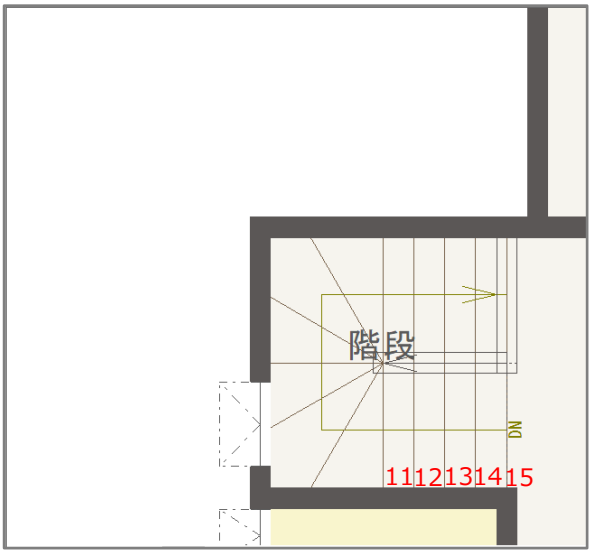
【注意】

(階段入力アシスト)や複(複合階段)を使用し、折り返し階段やかね折れ階段を入力する場合、折り返し部分やかね折れ部分の奥行は階段幅と同じ寸法になり、奥行の指定はできません。

ここでは、図のような折り返し階段を、階段幅 1000mm、折り返し部分の奥行が 910mmになるように入力する方法を説明します。



<1 階平面>



<2 階平面>

操作手順

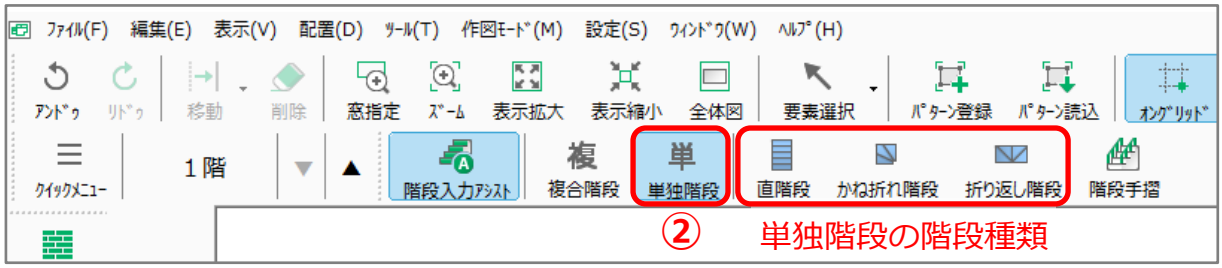
① (プラン図)で 1820mm×2000mm の階段区画を作成

＊ (壁)の入力と(部屋)の設定を行います。

＊ 詳細な入力手順は省略します。詳しくは A's（エース）のマニュアルやヘルプをご覧ください。

② (階段)をクリックし、単(単独階段)をクリック

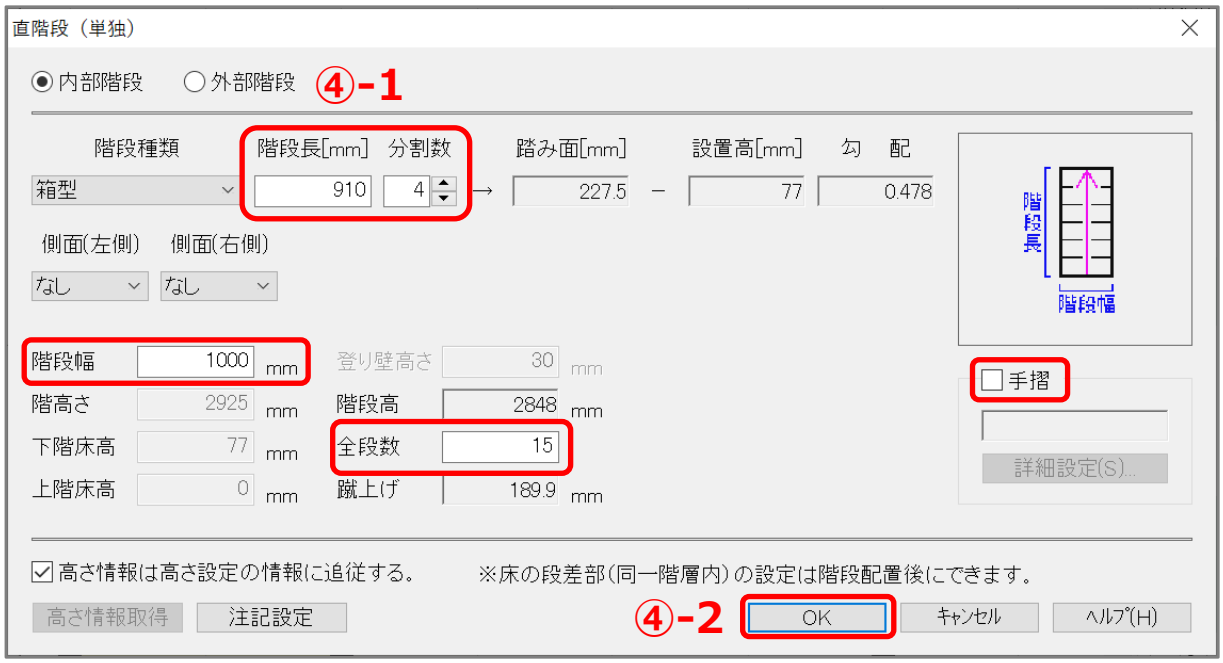
＊ 単独階段の階段種類が表示されます。



③ (直階段)をクリック

＊ 直階段（単独）の設定画面が表示されます。

④ 階段長、分割数、階段幅、全段数、手摺の有無を設定後「OK」をクリック

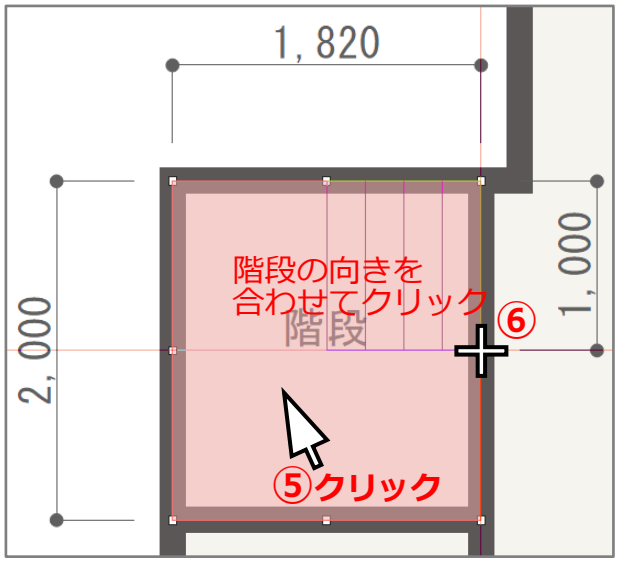


＊ ここでは、階段長「910」mm、分割数「4」、階段幅「1000」mm、全段数「15」、手摺のチェックは外します。

＊ 全段数には、上がりきりを含めた階段全体の段数を入力します。

⑤ 階段区画をクリック

＊ 階段区画が赤く選択され、マウスと共に直階段４段のラバーバンド表示が動きます。



⑥ マウスを階段の登り口の左角に合わせ、階段形状の向きが合った状態でクリックし確定

＊ 直階段４段が配置され、登り口の全壁が全開口に変わります。

⑦ (折り返し階段)をクリック

＊ 折り返し階段（単独）の設定画面が表示されます。

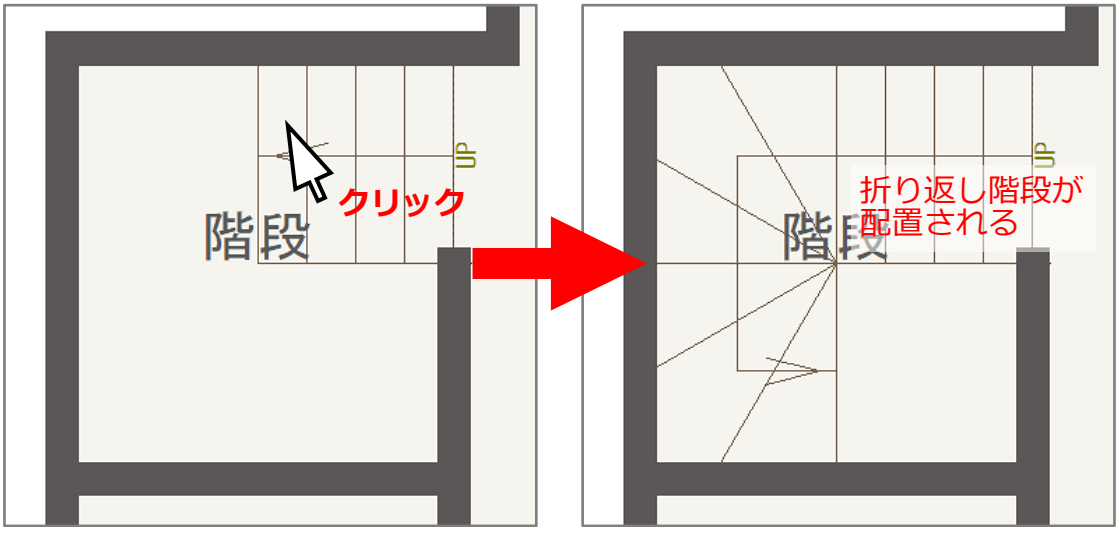
⑧ 分割数、階段幅、階段奥行、全段数、廻り方向、手摺の有無を設定後「OK」をクリック

＊ ここでは、分割数「6」、階段幅「1000」mm、階段奥行「910」mm、全段数「15」段、廻り方向「左」、手摺のチェックは外します。

＊ 全段数には、上がりきりを含めた階段全体の段数を入力します。

⑨ 階段区画内をクリック

＊ 配置済みの直階段に連続して、折り返し階段６段が配置されます。



【参考】

単独階段は、(直階段)、(かね折れ階段)、(折り返し階段)を組み合わせて表現します。
登り口に階段を配置後、後から配置する階段は階段区画内をクリックすると、先に配置した階段に繋がり、連続して配置されます。

⑩ (直階段)をクリック

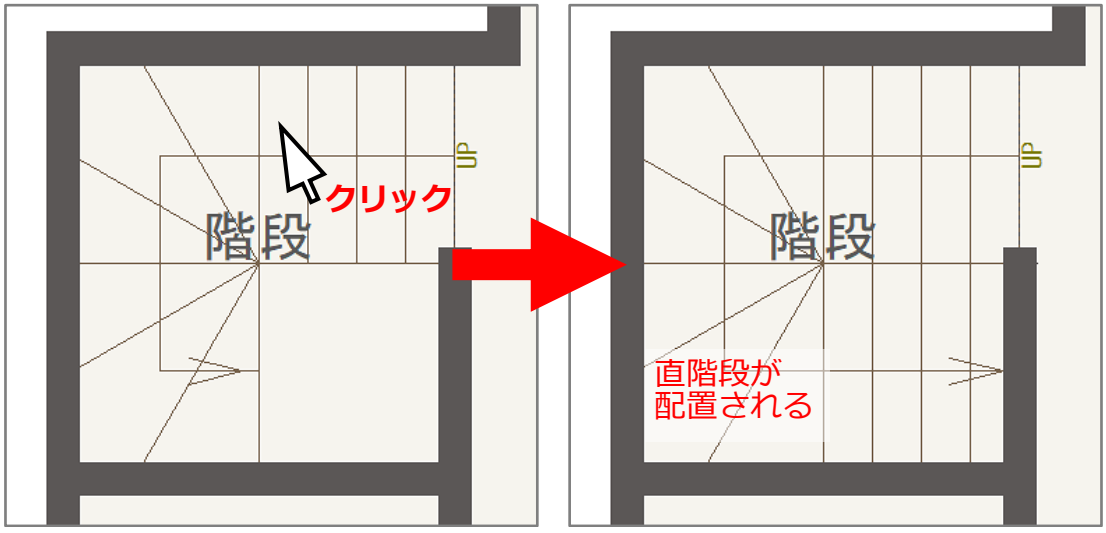
＊ 直階段（単独）の設定画面が表示されます。

⑪ 階段長、分割数、階段幅、全段数、手摺の有無を設定後「OK」をクリック

＊ ここでは、P.2 操作④と同じ設定なので、内容を確認しそのまま「OK」をクリックします。

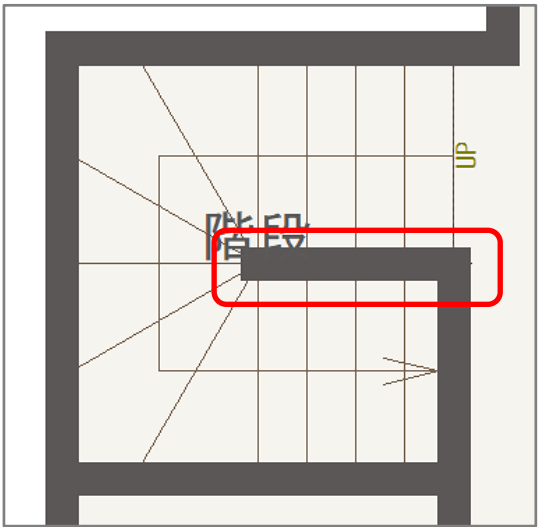
⑫ 階段区画内をクリック

＊ 配置済みの折り返し階段に連続して、直階段４段が配置されます。



＊ 階段幅が 1000mm、折り返し部分の奥行が 910mmの折り返し階段が配置されました。

⑬ (壁)の(全壁)を直階段の間に配置



＊ 直階段の間の壁を階段配置前に入力すると、階段が希望の向きに配置できないため、階段配置後に壁を入力してください。